

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ガーラ

コード番号 4777 URL <http://www.gala.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 菊川 暁

問合せ先責任者 (役職名) 国内子会社管理部門担当部長 (氏名) 藤田 公司

TEL 03-5778-0321

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	204	△72.1	△128	—	△110	—	△137	—
25年3月期第1四半期	733	△40.0	△167	—	△102	—	129	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △150百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △13百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△1,298.25	—
25年3月期第1四半期	1,221.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	557	42	△9.9	△519.09
25年3月期	722	188	13.2	895.15

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 △55百万円 25年3月期 95百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業が立ち上げ段階にあり、アプリの開発や提供が予定どおりに進まない可能性が高く、また、オンラインゲーム事業における、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予想の公表を差し控えさせていただきます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	106,230 株	25年3月期	106,230 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	106,230 株	25年3月期1Q	106,230 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、P. 2「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、決算発表後にホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績の概況は、連結売上高 204,384千円（前年同四半期比72.1%減）となり、大幅な減収となりました。

これは、当社グループの主力事業であるオンラインゲーム事業の欧米子会社を前第3四半期連結累計期間をもって、株式譲渡により連結から除外した影響、データマイニング事業国内子会社を前第1四半期連結累計期間をもって株式譲渡により連結から除外した影響及びオンラインゲーム事業の主力ゲームの売上高が全地域で減少したことによるものであります。また、従前より販売費及び一般管理費の削減を進めているものの、スマートフォンゲーム事業の開発費用の計上により、営業損失128,607千円（前年同四半期営業損失167,145千円）、経常損失110,148千円（前年同四半期経常損失102,886千円）四半期純損失137,913千円（前年同四半期純利益129,709千円）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度に欧州子会社Gala Networks Europe Ltd.を連結子会社から除外したことにより、当第1四半期連結会計期間から「欧州」セグメントはありません。また、前連結会計年度に南米子会社Gala-Net Brazil Ltd.連結子会社から除外したことにより、「米州」を「米国」に名称変更しております。

#### ①日本

日本セグメントでは、経営効率化を目的に国内子会社㈱ガーラジャパンのオンラインゲームパブリッシングサービスを韓国子会社Gala Lab Corp.に移管し、オンラインゲーム運営の一部業務をGala Lab Corp.から受託により提供するビジネス構造に変更し、㈱ガーラジャパンは大幅に規模縮小化を図りました。また、前第1四半期連結累計期間をもってデータマイニング事業会社㈱ガーラバズを株式譲渡により連結から除外しているため、当第1四半期連結累計期間の日本セグメントにおける主な売上高は国内子会社㈱ガーラウェブのその他事業（ホームページ制作・保守、コミュニティ関連サービス）となりました。

また、日本セグメントにおいては、当社及び国内子会社㈱ガーラジャパン及び㈱ガーラポケットのスマートフォンアプリ事業におけるアプリのサービス開始に向けた準備を前連結会計年度から継続して実施しております。

これらの結果、日本セグメントにおける売上高は39,944千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で144,078千円（78.3%）の減収となり、セグメント損失が95,390千円（内部取引を含む。前年同四半期は75,739千円の損失）となりました。

②米国

米国セグメントでは、スマートフォンアプリ事業子会社Gala Innovative Inc. で、前連結会計年度からゲームアプリの開発に向けた準備を進めておりましたが、当第1四半期連結累計期間において、事業資金不足や人材確保が困難になるなど経営状況が悪化し、当第1四半期連結会計期間末には事業活動の継続が難しい状況となりました。今後は事業活動を停止する予定であります。このため、当第1四半期連結累計期間において、米国セグメントの売上高の計上はありません。

また、前第3四半期連結累計期間をもって、オンラインゲーム事業会社2社（Gala-Net Inc. 及び Gala-Net Brazil Ltd.）を株式譲渡により連結から除外していることから、前年同四半期比で167,533千円の減収となり、セグメント損失が21,248千円（内部取引を含む。前年同四半期は52,548千円の損失）となりました。

③韓国

韓国セグメントでは、Gala Lab Corp. のオンラインゲーム事業で日本向けのオンラインゲームパブリッシングが移管されたことにより、各地域における主力ゲームの売上高は減少したものの、当第1四半期連結累計期間から日本向けの売上高が増加要因となり、売上高は176,493千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で20,706千円（13.3%）の増収となり、セグメント損失が7,539千円（内部取引を含む。前年同四半期は45,836千円の損失）となりました。

なお、Gala Lab Corp. においてもスマートフォンアプリ事業でゲームアプリのサービス提供開始に向けて開発を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて146,709千円減少し、42,065千円となりました。

主な増減は、資産では現金及び預金が174,577千円減少し、売掛金が39,375千円減少し、流動資産のその他が36,935千円増加いたしました。負債では流動負債のその他が13,428千円減少し、長期前受収益が10,067千円減少いたしました。純資産では利益剰余金が138,349千円減少し、また、為替換算調整勘定が12,311千円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業が立ち上げ段階にあり、アプリの開発や提供が予定どおりに進まない可能性が高く、また、オンラインゲーム事業における、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただいております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失820,547千円及び当期純損失2,268,566千円を計上しております。また、当第1四半期連結累計期間においても売上高は204,384千円、前年同四半期比72.1%減少となり、営業損失128,607千円及び四半期純損失137,913千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループでは、当該状況を早期に解消又は改善すべく対応策に取り組んでおりますが、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

当社グループでは、当該状況等を解消し、または改善するための対応策として、① スマートフォンアプリのライセンス取得と各種言語版の開発とその提供、② 組織体制及び人員配置の見直し、③ 資金繰りについて取り組んでおります。

当社グループの対応策の詳細は「4. 四半期連結財務諸表(3)継続企業の前提に関する注記」に記載しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	362,961	188,384
受取手形及び売掛金	129,085	89,709
その他	24,226	61,161
貸倒引当金	△324	△273
流動資産合計	515,948	338,982
固定資産		
有形固定資産	2,027	1,372
無形固定資産		
ソフトウェア	14,319	14,663
権利金	10,734	9,496
その他	168	222
無形固定資産合計	25,222	24,381
投資その他の資産		
長期預金	47,005	49,290
長期貸付金	76,500	79,168
破産更生債権等	23,062	23,321
敷金及び保証金	50,310	58,696
その他	3,117	3,167
貸倒引当金	△20,303	△20,562
投資その他の資産合計	179,692	193,081
固定資産合計	206,942	218,835
資産合計	722,890	557,817
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,737	4,717
短期借入金	42,000	43,000
1年内返済予定の長期借入金	3,360	6,880
前受金	41,848	42,348
未払法人税等	16,184	24,678
賞与引当金	5,310	1,837
その他	178,654	165,226
流動負債合計	301,096	288,687
固定負債		
長期借入金	10,080	6,880
長期前受収益	88,880	78,812
退職給付引当金	100,617	107,002
その他	33,441	34,368
固定負債合計	233,019	227,063



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債合計	534,115	515,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,171,582	2,171,582
資本剰余金	700,041	700,041
利益剰余金	△2,402,919	△2,540,833
株主資本合計	468,703	330,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114	105
為替換算調整勘定	△373,726	△386,038
その他の包括利益累計額合計	△373,611	△385,933
新株予約権	93,683	97,208
純資産合計	188,775	42,065
負債純資産合計	722,890	557,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	733,022	204,384
売上原価	154,454	68,733
売上総利益	578,568	135,650
販売費及び一般管理費	745,714	264,258
営業損失(△)	△167,145	△128,607
営業外収益		
受取利息	1,683	1,320
為替差益	63,704	18,400
その他	446	10
営業外収益合計	65,834	19,731
営業外費用		
支払利息	1,387	1,007
貸倒引当金繰入額	—	258
その他	188	5
営業外費用合計	1,575	1,272
経常損失(△)	△102,886	△110,148
特別利益		
新株予約権戻入益	8,469	—
関係会社株式売却益	279,659	—
契約解除益	—	3,466
特別利益合計	288,128	3,466
特別損失		
減損損失	17,967	1,338
その他	4,373	—
特別損失合計	22,340	1,338
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	162,901	△108,020
法人税、住民税及び事業税	22,278	5,022
過年度法人税等	—	24,871
法人税等調整額	12,391	—
法人税等合計	34,670	29,893
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	128,230	△137,913
少数株主損失(△)	△1,478	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	129,709	△137,913

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	128,230	△137,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,044	△9
為替換算調整勘定	△136,305	△12,311
その他の包括利益合計	△141,350	△12,321
四半期包括利益	△13,119	△150,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,281	△150,234
少数株主に係る四半期包括利益	△6,838	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社及び連結子会社(以下「当社グループ」)は、前連結会計年度において営業損失820,547千円及び当期純損失2,268,566千円を計上しております。また、当第1四半期連結累計期間においても営業損失128,607千円及び四半期純損失137,913千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策を実施してまいります。

まず、スマートフォンアプリ事業において平成25年4月にライセンス取得したアプリのグローバル展開に向けて、Gala Lab Corp. でゲームアプリの開発を進めており、㈱ガーラポケットでも新規アプリの開発を進めております。今後もアプリタイトルの増加による収益力の向上を図ってまいります。

また、グループ全体で大幅な人員及び経費の削減を実施し、スリム化を図っております。今後も必要に応じて経営の効率化を図るため、組織体制及び人員配置の見直しを実施してまいります。

資金繰りにつきましては、当面の厳しい事業環境を乗り越えるべく、取引金融機関に対して引続き協議を進めるとともに、増資による資金調達を検討してまいります。

以上の施策を実施するとともに、今後も引続き有効と考えられる施策については、積極的に実施してまいります。

しかしながら、これらの改善策を実施してもなお、今後の売上高及び利益の回復は、組織体制の見直し、スマートフォン向けアプリケーションの開発の進捗状況、市場投入の時期、環境の変化等に左右されることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	韓国	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	153,330	167,485	349,767	62,439	733,022	—	733,022
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	30,691	48	88	93,348	124,177	△124,177	—
計	184,022	167,533	349,856	155,787	857,199	△124,177	733,022
セグメント損失(△)	△75,739	△52,548	△15,948	△45,836	△190,072	22,926	△167,145

(注) 1. セグメント損失の調整額22,926千円は、セグメント間取引消去22,926千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、Gala-Net Brazil Ltd.を連結子会社に含めたことにより、「米国」を「米州」に名称変更し、当該連結子会社を「米州」としております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「米州」セグメントについて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において17,967千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	韓国	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	32,733	—	171,650	204,384	—	204,384
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,210	—	4,842	12,053	△12,053	—
計	39,944	—	176,493	216,437	△12,053	204,384
セグメント損失(△)	△95,390	△21,248	△7,539	△124,178	△4,429	△128,607

(注) 1. セグメント損失の調整額△4,429千円は、セグメント間取引消去△4,429千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

前連結会計年度に、欧州子会社Gala Networks Europe Ltd.を連結子会社から除外したことにより、当第1四半期連結会計期間から「欧州」セグメントはありません。また、南米子会社Gala-Net Brazil Ltd.を連結子会社から除外したことにより「米州」を「米国」に名称変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「米国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において1,338千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。